

第30回防衛問題セミナー

テーマ:いざという時のために ～地域の危機管理と自衛隊の災害派遣～

北海道防衛局は、平成27年6月29日(月)に新ひだか町公民館において「いざという時のために ～地域の危機管理と自衛隊の災害派遣～」をテーマに、新ひだか町の後援を頂き防衛問題セミナーを開催し、112名の方々にご来場いただきました。

冒頭、杉田北海道防衛局長から開催挨拶を行い、続いて新ひだか町の本庄副町長から御挨拶を頂きました。

講演は、総務省消防庁国民保護・防災部防災課国民保護運用室の桑畑英紀室長から「国民保護と防災」と題し、国民保護の概要、防災の基礎知識及び災害対応事例紹介、消防と自衛隊の連携等について、陸上自衛隊第7高射特科連隊長兼静内駐屯地司令の神田謙1等陸佐から「自衛隊の災害派遣活動と静内駐屯地の役割」と題し、災害派遣における陸上自衛隊の活動、災害発生時における静内駐屯地の任務及び即動訓練の状況等について、それぞれ説明を行い、来場者は熱心に聴講されていました。

来場者からは、「非常に勉強になった。」、「事態に対する平素からの意識及び対処要領について理解できた。」、「自衛隊の活動状況がよく理解できた。」などの声が寄せられました。

当局では、防衛省の諸施策や自衛隊の活動等について、多くの皆様に御理解を深めていただけるよう、今後も各地で防衛セミナーを開催していく予定です。

主催者及び後援者挨拶



北海道防衛局 杉田局長 新ひだか町 本庄副町長

セミナー風景



講師



桑畑 室長



神田 司令

自衛隊の災害派遣活動写真及び装備品の展示状況

